

本年度の
重点目標

- ・学習習慣の確立と基礎学力の向上を図る。
- ・基本的な生活習慣の確立を図り、集団生活における規律の確立を図る。
- ・学業と就労の両立を図り、生涯にわたる学びの基礎を培う。

（ ）内は、H25年度

1. 学校経営

- (1) 分掌と学年間の連携など、教職員間の協力体制を作っている。 評価 A (A)
◎生徒会活動実施時や生徒問題行動発生時に全職員で対応。
◎週に一回の生徒情報交換会を開催。
- (2) 教職員の資質向上のため、研修会等の機会を計画、実施している。 評価 B (A)
◎4/15：情報セキュリティ研修 6/11：職員人権校内研修
7/22：職員人権校外研修 8/26：キャリア教育研修

2. 学習指導

- (3) 基礎学力を定着させるために、学習習慣の確立を図っている。 評価 B (A)
◎出席率75%以上日数/授業日数=91.0% (93.3%)
- (4) 各教科指導において、学習計画（シラバス）に沿った授業を展開している。 評価 B (B)
- (5) 生徒の実態に即した教育課程を研究開発している。 評価 A (B)
◎国語力の向上をめざすために、現代文の授業時数を増やしている。

3. 生徒指導

- (6) 問題行動等を未然に防止するための生活指導に努めている。 評価 A (D)
◎綿密な校内巡視の計画と実行
(参考) 問題行動指導生徒合計：8人/60人=13.3% (33.6%)
- (7) 基本的な生活習慣の確立のために日常的な指導を行っている。 評価 B (B)
◎登下校時の校門立番および校舎内立番時での挨拶運動。
◎食育推進のための給食奨励。
- (8) いのちの尊さを訴えるとともに、交通安全指導の徹底を図っている。 評価 A (B)
◎7/11 交通講話の実施
◎損害保険講話
- (9) 教職員が一致していじめの未然防止、早期発見、早期対応に取り組んでいる。 評価 A (B)
◎週1回の生徒情報交換会を実施し、早期発見・対応に努めている。
◎1学期末、いじめ対策委員会の実施

4. 進路指導

- (10) 適正な進路選択と卒業時の進路保障に努めている。 評価 A (C)
◎キャリア教育に関するワークショップおよび講話の計画・実行
(参考) H26.3 卒進路先決定者 18人/23人=78.2% (66.3%)

- (11) 生徒一人ひとりの進路希望に応じた進路情報を提供している。 評価 A (B)
◎求人票の公開・更新と進路情報雑誌の提供
◎週1回のハローワークとの連携・訪問

5. 特別活動等

- (12) 学校行事の工夫と魅力ある生徒会活動に努めている。 評価 A (A)
- (13) *生徒会専門委員会の活動を活性化し高校生としての自覚と責任感を育むよう努めている。 評価 B
◎生徒会長を中心とした生徒会提案での行事
(参考)七夕夕食会、球技大会など
- (14) ボランティア活動の充実を図っている。 評価 A (B)
◎6/3 びわ湖岸清掃計画・実行

6. 学校図書館

- (15) 読書への興味・関心・意欲を涵養するため広報を発行している。 評価 B (D)
◎図書紹介：前期（9月末まで） 0回 後期 4回予定
- (16) 図書室の利便性を高め、生徒が積極的に利用するよう努めている。 評価 B

7. 保健・安全指導

- (17) 定期健康診断を全生徒に受診させている。 評価 B (B)
◎健康診断受診率： 59.6% (78.7%)
- (18) 就労と学業を両立させるため、健康意識の啓発に努めている。 評価 B (B)
◎給食をとおした食育環境の改善 ◎給食摂取率 94.2%

8. 人権教育

- (19) 教育活動の中に人権教育の視点を取り入れている。 評価 A (B)
- (20) 人権教育に関する計画的な指導を図っている。 評価 B (B)
◎人権教育LHRを学期に1回実施（6/16 人権映画鑑賞後人権学習）

9. 環境教育

- (21) ゴミの減量化を図るとともに、省エネルギー意識の高揚に努めている。 評価 B (C)
- (22) 環境美化活動の充実を図っている。 評価 A (B)
◎6月実施のびわ湖岸清掃活動と月1回の大掃除

10. 事務・管理

- (23) 諸会費等の期限内納入を確保している。 評価 A (C)
◎9月末時点での納入率：100% (78.9%)

11. その他学校の取組み

- (24) 来校者や電話に対して丁寧に対応している。 評価 A (A)
- (25) 生徒の就労先との連携を図っている。 評価 B (B)
◎週1回のハローワーク訪問と情報収集。